

また、市の将来都市像実現に向け、総合計画に掲げた事業についても引き続き取り組みます。健康長寿、子育て支援や健康づくり施策の充実強化、また、新市建設計画に基づく施設の整備を進めるとともに、合併後の市の一体感を醸成するための施策や、市民との協働のまちづくりの推進などを一層進めていきます。

本年度は市制施行11年目の新たな段階（ステージ）に入ります。本年度の予算は、すべての世代が生き生きと暮らせ、安心して子育てできるまちを目指せるよう編成しました。予算組みの柱として昨年10月に策定した「市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げた施策「人口減少の抑制」と「田園産業都市としての地域活力の維持、推進」に取り組みます。

市まち・ひと・しごと  
創生総合戦略が本格化

すべての世代が生き生きと暮らせ、安心して子育てできるまちを目指して  
本年度の一般会計の予算額は、427億円で、前年比9億6000万円、率にして2.3%の増額となりました。

一般会計 歳入

主な歳入のうち、市税は、114億861万円を計上しました。個人市民税現年度分は1億8百万円の増額。法人市民税現年度分は2億2千万円の減額を見込みました。また、固定資産税現年度分は、評価結果などから2億4千万円の増額を見込んでいます。

基金繰入金は、37億3483万円を計上しました。財政調整基金19億8830万円、公共施設整備基金9億円の繰入などです。

地方債は、52億8790万円を計上しました。主な事業は、しゃくなげの湯整備事業で7億7670万円、保育園建設に係る事業で8億9300万円、三郷交流学習センター建設事業で4億2120万円などです。前年度と比較すると9730万円、1.8%の減額となっています。

一般会計は427億円

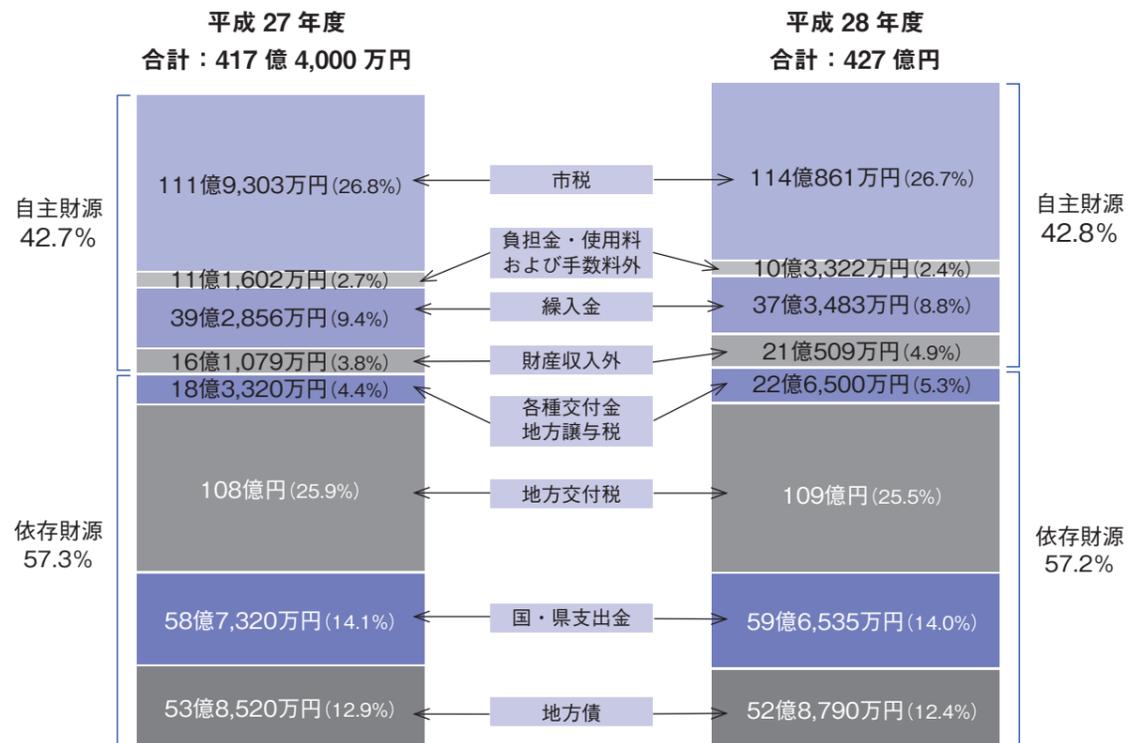
3月議会において可決された、平成28年度当初予算の内容をお知らせします。本年度は、総合計画に掲げる5つの重点項目および市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げた施策を中心に事業に取り組みます。

5つの重点項目

- 1 健康長寿のまちづくり
- 2 豊かな人を育むまちづくり
- 3 活力あふれるまちづくり
- 4 環境を守り、安全・安心なまちづくり
- 5 協働によるまちづくりと行政サービスの向上

※事業の詳細は、6・7ページの「28年度取り組む主な事業」をご覧ください。

歳入予算の増減



平成 28 年度安曇野市各会計予算額一覧

単位：千円

会計名	平成 28 年度	平成 27 年度	対前年度比	対前年度比率 %	
一般会計	42,700,000	41,740,000	960,000	2.3	
特別会計	22,514,854	22,419,092	95,762	0.4	
国民健康保険	12,502,701	12,519,497	△ 16,796	△ 0.1	
後期高齢者医療	1,032,502	978,058	54,444	5.6	
介護保険	8,855,021	8,788,183	66,838	0.8	
上川手山林財産区	2,512	3,843	△ 1,331	△ 34.6	
北の沢山林財産区	1,118	1,192	△ 74	△ 6.2	
有明山林財産区	1,150	1,342	△ 192	△ 14.3	
富士尾沢山林財産区	975	1,508	△ 533	△ 35.3	
穂高山林財産区	1,487	1,379	108	7.8	
産業団地造成事業	85,224	84,991	233	0.3	
観光宿泊施設	32,164	39,099	△ 6,935	△ 17.7	
総計（一般会計 + 特別会計）	65,214,854	64,159,092	1,055,762	1.6	
※下水道事業、農業集落排水事業は、地方公営企業法を適用する下水道事業会計へ移行しました。					
企業会計					
水道事業会計	収益的収入	2,321,106	2,342,617	△ 21,511	△ 0.9
	収益的支出	2,078,922	2,137,145	△ 58,223	△ 2.7
	資本的収入	75,166	193,068	△ 117,902	△ 61.1
	資本的支出	1,343,759	1,247,093	96,666	7.8
※	収益的収入	4,111,116	-	-	-
下水道事業会計	収益的支出	3,950,991	-	-	-
	資本的収入	993,977	-	-	-
	資本的支出	2,501,039	-	-	-